

2025年度 第5回防衛医科大学校病院臨床研究審査委員会 議事録

開催日時：2026年1月20日（火） 14:58～16:45

開催場所：防衛医科大学校 防衛医学研究センター1階 研究センター会議室

【委員出欠】

氏名	所属	性別	構成要件	設置者との利害関係	出欠	備考
◎竹内 大	防衛医科大学校 医学教育部医学科眼科学	男	1	無	○	
水野 孝昭	慶應義塾大学病院 腫瘍センター ゲノム医療ユニット	男	1	無	○	
三上 由美子	防衛医科大学校 医学教育部看護学科	女	1	無	○	
金子 雅彦	防衛医科大学校 医学教育部医学科社会学学科目	男	2	無	○	
大西なおみ	なし	女	3	無	○	
品川 なぎさ	防衛医科大学校 人文社会科学群人間文化学科	女	3	無	○	
桑原 英明	桑原総合法律事務所	男	3	無	○	

◎委員長

構成要件

1. 医学又は医療の専門家
2. 臨床研究の対象者の保護及び医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家又は生命倫理に関する識見を有する者
3. 1及び2に掲げる者以外の一般の立場の者

開催要件

委員会の実施に当たり下記第5条に示されている基準を満たさなければならない

1. 委員が5名以上であること
2. 男性及び女性がそれぞれ1名以上含まれていること
3. 防衛医科大学校病院（当該医療機関と密接な関係を有するものを含む。）に所属しているが委員の総数の半数未満であること
4. 防衛省に所属していない者が2名以上含まれていること

議題

1. 審議案件

【審議種別 新規申請】

整理番号	2025-02
課題名	Liquid Buccal Mucosal Graft (LBMG) 法（液状口腔粘膜移植法）を用いた難治性前部尿道狭窄の安全性および有用性の検討
研究責任（代表）医師	防衛医科大学校病院 外傷・熱傷・事態対処医療センター 再建部門 教授 堀口 明男
実施医療機関	防衛医科大学校病院
受付日	2025年11月17日
技術専門員	その他の疾患領域の専門員：3名
説明者	防衛医科大学校病院 外傷・熱傷・事態対処医療センター 再建部門 教授 堀口 明男
審査結果	継続審査（再審査）

会議の開催要件および委員の利益相反の確認後、審査案件説明者より研究の概要について説明があった。その後、委員による説明者への質疑が行われた。

【審査案件説明者の説明概要】

本研究は、怪我や遺伝的要因で尿道が狭くなる「尿道狭窄症」の新しい治療法に関するものである。尿道狭窄症の根本治療には、尿道を再建する「尿道形成術」があるが、侵襲が大きく、専門的技術を有する難易度の高い手術である。本研究は内視鏡による低侵襲性（簡便性）と、治療に必要な代用組織（口腔粘膜）の利用を組み合わせた液状口腔粘膜移植法（LPMG法）を実施する。本研究の目的は、難治性尿道狭窄症に対してLBMG法を実施することにより、尿道粘膜の再生を促進し、再狭窄を予防できるかを検証することである。

【委員会質疑】

- ・ 液状口腔粘膜の利用が、再生医療等安全性確保上の適用対象となるか確認すること。
- ・ 医療費及び評価項目の内容や評価時期について再考すること。

【審査結果】

継続審査（再審査）とする。